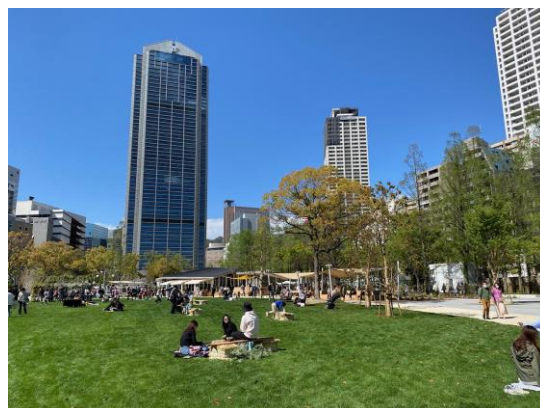


第698回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 東遊園地 [神戸市]

…………… 兵庫県神戸市

- ・東遊園地は、都心における貴重な緑のオープンスペースとして、日頃から市民の憩いや散策、レクリエーション等で利用されている都市公園。「神戸ルミナリエ」、「阪神淡路大震災1.17のつどい」等のイベント会場としても利用されている。
- ・神戸市では、都心三宮エリアの再整備を進めており、「人が主役の居心地のいいまち」を目指し様々な事業を進めている。
- ・「東遊園地」は都心三宮エリアにあつて南北と東西の人の流れをつなぐ要衝にあり、まちの滞留機能や回遊性向上を目的として、ParkPFI事業を活用した再整備を行ってきた。
- ・令和5年4月、北側エリアとにぎわい拠点施設（URBAN PICNIC）の整備が完了し、リニューアルオープンした。



2 大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド地区）橋梁 [近畿地整]

…………… 兵庫県神戸市

- ・大阪湾岸道路西伸部は、大阪湾岸道路の一部を構成する道路で、神戸市東灘区から長田区に至る延長14.5kmの高規格道路。
- ・阪神臨海地域の交通課題の緩和を図るとともに、物流の効率化、災害や事故などの緊急時の代替機能確保等を目的として、平成28年度に事業化した。
- ・大阪湾沿岸地域の既存幹線道路の交通負荷を軽減し、都市環境の改善を図るとともに、大阪湾沿岸諸都市を有機的に連絡して、都市の活力を向上させることを目的に整備を進めている。



3 ニロック（尼崎閘門） [兵庫県]

…………… 兵庫県尼崎市

- ・ニロック（尼崎閘門）は、兵庫県尼崎市臨海部の運河および河川と尼崎港を隔てる閘門。閘門とは、水面の高さが異なる2つの水域（海と運河）の間で船を安全に通航させるための施設であり、ニロックは日本最大級の閘門2基を有する。
- ・尼崎市南部の海拔ゼロメートル地帯の治水・高潮対策と臨海部の船舶利用を両立させるため、昭和30年に日本で最初のパナマ運河方式の閘門として建設された。
- ・大型の排水ポンプ8台を備え、閘門閉鎖時の大雨の際には1秒間に72.0㎡の水を防潮堤の外側へはき出し、まちを内水氾濫から守る。

